

# 令和7年度 敦賀工業高等学校スクールプラン

業務改善のための取組		本校の教育目標			人権教育の推進		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議での協議内容を精選し、資料を事前に配付することにより会議時間を短縮する</li> <li>・情報の共有化で文書業務を効率化する</li> <li>・勤務時間管理と業務改善により長時間勤務を縮減し、働きがいを増進する</li> </ul>		活力: 地域と連携した「活力」ある学校を目指す 自律: 自ら考え、自ら判断できる「自律」した生徒を育成する 進化: 新しい時代にふさわしい「進化」する学校を目指す			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に関する研修を実施し、生徒と教職員との親和的な関係維持に努める</li> <li>・生徒および教職員相互が相手の人権を尊重した行動をとるよう努める</li> <li>・主体的に考察し、公平に判断する力を身に付ける</li> </ul>		
※項目ごとに重点目標を設定する。				※学校運営上必要な項目、学校の特色・魅力となる項目を独自に設定			
※項目数 学校裁量	(共通項目) 1 教育課程・学習支援	(共通項目) 2 生徒支援	(共通項目) 3 進路支援	(独自項目) 4 保健管理	(独自項目) 5 生徒募集	(独自項目) 6 自主性の育成	(独自項目) 7 工業教育
※重点目標 ○	授業を大切にす る	自主性を育て、 自主的に行動で きる生徒を育成 する	進路について、 自分事として考 え行動できる力 を身につけさせ る	心身の健康に関 心を持たせる	広報活動を通し て、本校への興 味や関心を高め させる	基本的な生活習慣 を身につけさせ 、進路希望の 実現につなげる	探究的な姿勢の 獲得を目指す
※具体的取組 取組は1つか2 つまで a(取組) 目標: b(取組) 目標:	具体的取組: 授業時間をいっ ぱい活用して授 業を行い、より 良い授業作り への研鑽を深 める。  目標a: 学科、学年、教 科を超えた互見 授業を通して授 業改善に向けた 取り組みを共有 する。  目標b: 生徒の途中入退 出を全校で年間 300回までに抑 える。	具体的取組: 敦工TPOスタイル の定着を図る。  目標a: 時間・場所・場 面に応じた服装 を考え、行動へ と支援する。  目標b: 主体的に考え、 行動する力と多 様性を尊重する 力の育成を通し て社会性を身に につけさせる。	具体的取組: ・進路活動に早 期から自分事と して取り組める よう、地域社会 との連携を工夫 する。 ・進学支援につ いて、個に応じ た支援を計画・ 実施する。  目標: 生徒の進路意識 が向上する。 (年度末アンケ ートにより確認)	具体的取組: 心の不調に気付 き、早めにSOS を出しやすい雰 囲気を作る。  目標: 夏休み終了まで に、全員が健康 診断後の再検査 を終えているよ うにする。	具体的取組: SNS等を活用し 本校の教育活動 を広報する。  目標a: オープンスクール や体験入学、個 別相談会などに 参加した中学生 からの入学者を 増やす。  目標b: HPやInstagram 等のフォロワー 数や閲覧数が増 える取り組みを 行う。	具体的取組: 個人面談を実施 して意識改善を 図る。  目標a: 生徒の遅刻の回 数を全校で年間 100回以内にする。  目標b: 学期に1回は面 談を実施し、生 徒理解を深める。	具体的取組: 3年間を通して 、年次継続的に 探究を深めてい く学習活動を支 援する。  目標: 各生徒が設定テ ーマに関して、 一人で探究活動 を進められるよ うに支援する。